

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人城西大学

## (2) 大学名

城西国際大学大学院

## (3) 大学の位置

〒283-8555  
千葉県東金市求名1番地  
(〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 調査対象研究科等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科の 分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻 (修士課程)  修士(国際アドミニストレーション)	経済学関係	2	35	70	(変更前:入学定員25人) (変更年月:平成28年4月) (報告年度:平成28年度)  基礎となる学部等 大学院人文科学研究科 国際アドミニストレーション専攻 国際人文学部 国際交流学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

## 2 既設大学等の状況

大学の名称	城西国際大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
A C 対象学部等 福祉総合学部 理学療法学科	4	80	—	160	学士 (理学療法学)	0.94	平成28年度	千葉県東金市 求名1番地	
経営情報学部 総合経営学科	4	400	3年次 20	1,760	学士 (経営情報)	0.74	平成17年度	千葉県東金市 求名1番地	平成24年度より定 員変更 40 平成28年度より定 員変更 60
国際人文学部 国際文化学科	4	80		320	学士 (国際文化)	0.68	平成20年度	同上	平成23年度より定 員変更 20 平成24年度より定 員変更 20
国際交流学科	4	120	3年次 10	500	学士 (国際交流)	0.75	平成20年度	同上	
福祉総合学部 福祉総合学科	4	140	3年次 5	610	学士 (福祉総合)	0.64	平成19年度	同上	平成24年度より定 員変更 80 平成24年度より定 員変更 80 平成24年度より定 員変更 40 平成28年度より定 員変更 20
薬学部 医療薬学科	6	130		780	学士 (薬学)	1.06	平成18年度	同上	平成23年度より定 員変更 30 平成24年度より定 員変更 20
メディア学部 メディア情報学科	4	300	3年次 20	1,200	学士 (メディア情報)	1.18	平成17年度	同上	平成24年度より定 員変更40 平成25年度より定 員変更60 平成25年度より編 入定員変更15 平成28年度より定 員変更20
環境社会学部 環境社会学科	4	60		280	学士 (社会学)	0.64	平成22年度	同上	平成28年度より定 員変更 20
看護学部 看護学科	4	100		400	学士 (看護学)	1.17	平成24年度	同上	
観光学部 ウェルネスツーリズム学科	4	100		400	学士 (観光学)	0.74	平成18年度	千葉県鴨川市 太海1581番地	平成24年度より定 員変更 20

大学の名称	城西国際大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
A C対象学部等 大学院 国際アドミニストレーション 研究科 国際アド ミネーション専攻 (修士課程)	2	35		70	修士 (国際アドミニ ストレーション)	0.89	平成25年度	東京都千代田区 紀尾井町3番地26号	平成28年度より定 員変更10
大学院 人文科学研究科 比較文化専攻 (博士後期課程)	3	6		18	博士 (比較文化)	2.02	平成10年度	千葉県東金市 求名1番地	
国際文化専攻 (修士課程)	2	15		30	修士 (国際文化)	1.28	平成8年度	同上	
女性学専攻 (修士課程)	2	15		30	修士 (女性学)	0.70	平成8年度	同上	
グローバル コミュニケーション専攻 (修士課程)	2	25		50	修士 (国際文化)	0.96	平成25年度	東京都千代田区 紀尾井町3番地26号	平成28年度より定 員変更10
大学院 経営情報学研究科 起業マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	6		18	博士 (経営学)	0.27	平成12年度	千葉県東金市 求名1番地	
起業マネジメント専攻 (修士課程)	2	36		56	修士 (経営学)	1.10	平成10年度	同上	平成29年度より定 員変更16
大学院 ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻 (修士課程)	2	30		60	修士 (経営学)	1.08	平成17年度	東京都千代田区 紀尾井町3番地26号	平成28年度より定 員変更10
大学院 福祉総合学研究科 福祉社会専攻 (修士課程)	2	25		50	修士 (福祉社会)	0.74	平成17年度	千葉県東金市 求名1番地	
大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 (博士課程)	4	3		12	博士 (薬学)	0.58	平成24年度	同上	

大学の名称	城西大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
A C対象学部等									
理学部									
数学科	4	120		480	学士 (理学)	1.25	昭和40年度	東京都千代田区 平河町2丁目1番4,8 埼玉県坂戸市 けやき台1-1	平成25年度より定 員変更40
薬学部									
薬科学科	4	50		200	学士 (薬科学)	1.26	平成18年度	埼玉県坂戸市 けやき台1-1	
経済学部									
経済学科	4	300		1,200	学士 (経済学)	1.04	昭和40年度	埼玉県坂戸市 けやき台1-1	平成18年度より定 員変更 170
現代政策学部									
社会経済システム学科	4	250		1,000	学士 (現代政策)	1.07	平成18年度	同上	
経営学部									
マネジメント総合学科	4	500		2,000	学士 (経営学)	1.06	平成16年度	同上	
理学部									
化学科	4	90		360	学士 (理学)	1.02	昭和40年度	同上	平成25年度より定 員変更10
薬学部									
薬学科	6	250		1,500	学士 (薬学)	1.25	平成18年度	同上	
医療栄養学科	4	100		400	学士 (医療栄養学)	1.08	平成13年度	同上	

大学の名称	城西大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院									
経済学研究科 経済政策専攻 (修士課程)	2	10		20	修士 (経済学)	1.10	昭和53年度	埼玉県坂戸市 けやき台1-1	
経営学研究科 ビジネスイノベーション 専攻(修士課程)	2	25		40	修士 (経営学)	1.24	平成15年度	同上	平成29年度より定 員変更10
理学研究科									
数学専攻 (修士課程)	2	15		30	修士 (理学)	0.33	平成10年度	同上	
物質科学専攻 (修士課程)	2	12		24	修士 (理学)	0.62	平成16年度	同上	
薬学研究科									
薬学専攻 (博士課程)	4	6		15	博士 (薬学)	1.74	平成24年度	同上	平成29年度より定 員変更3
薬科学専攻 (博士前期課程)	2	32		52	修士 (薬科学)	1.08	平成22年度	同上	平成29年度より定 員変更12
(博士後期課程)	3	3		9	博士 (薬科学)	0.55	平成24年度	同上	
医療栄養学専攻 (博士前期課程)	2	20		40	修士 (医療栄養学)	0.72	平成17年度	同上	

大学の名称	城西短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
ビジネス総合学科	年 2	人 120	年次 人	人 240	短期大学士 (ビジネス総合)	0.83	平成18年度	埼玉県坂戸市 けやき台1-1	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

### 3 教員組織の状況

<国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻>

#### (1) 設置基準上の必要専任教員数

現在（報告書提出時）における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、現在（報告書提出時）における設置基準上の必要教授数	現在（報告書提出時）における設置基準上の必要研究指導補助教員数
5	4	4
名	名	名

(注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日 文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

#### (2) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)
13	2	0	0	15	9	1	0	0	10
(13)	(2)	(0)	(0)	(15)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
9	0	6		10	0	0			
(9)	(0)	(6)							

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

#### (3) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
70 （平成19年4月1日以降の採用者は65） 歳	4 名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

#### 4 前年度のA C調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、平成28年度の62.5%に対し、平成29年度は40.0%となった。</p>	<p>平成28年7月に策定した教員任用計画に基づいて改善に取り組んでいる。漸次その効果が出てきているが、平成31年度を目途に引き続き改善に取り組んでいく。</p>
<p>福祉総合学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、平成28年度の14.3%に対し、平成29年度は11.8%となった。</p>	<p>現在、平成32年の完成年度に向けて設置認可申請時の計画を履行中であり、年次採用の若手教員が着任したこともあって専任教員の年齢バランスは改善の傾向にある。適切な組織編成となるよう平成30年度中には将来構想をふまえた教員任用計画を策定する予定である。</p>
<p>同一設置者が設置する既設学部等（城西大学理学部数学科、薬学部薬科学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>1）城西大学理学部数学科では、平成28年度の入学定員超過率が1.49倍であったため、歩留まりの精査検討を行い、平成29年度入学定員超過率が1.15倍となった。</p> <p>2）城西大学薬学部薬科学科では、平成28年度の入学定員超過率が1.58倍であったため、歩留まりの精査検討を行い、平成29年度入学定員超過率が1.0倍となった。</p>	<p>城西大学理学部数学科については、平成29年度の入学定員超過率は1.15倍となったものの、平均入学定員超過率は昨年度の入学定員超過の影響により1.25倍となっている。よって、平成30年度についても引き続き歩留まりの精査検討を十分に行い、1.0倍を目指す。</p> <p>城西大学薬学部薬科学科については、平成29年度の入学定員超過率は1.0倍となったものの、平均入学定員超過率は昨年度の入学定員超過の影響により1.26倍となっている。よって、平成30年度についても引き続き歩留まりの精査検討を十分に行う。</p>

意見	履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>同一設置者が設置する既設学部等（国際人文学部国際文化学科、国際交流学科、環境社会学部環境社会学科、観光学部ウェルネスツーリズム学科、城西短期大学ビジネス総合学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p style="text-align: center; color: red;">改善意見</p> <p>1) 城西短期大学ビジネス総合学科では、平成29年度については、短期大学を希望する学生の多様化を図るとともに留学生を確保することに努力した。よって、入学定員充足率が0.97に上昇し、定員充足率が0.83に回復した。</p> <p>2) 国際人文学部国際文化学科では、募集活動等の見直し・強化に取り組み、平成28年度の入学定員充足率の平均0.65倍に対し、平成29年度の同率の平均は0.68倍となった。不十分ながらやや改善の傾向にある。</p> <p>3) 国際人文学部国際交流学科では、募集活動等の見直し・強化に取り組み、平成28年度の入学定員充足率の平均0.67倍に対し、平成29年度の同率の平均は0.75倍となった。不十分ながらやや改善の傾向にある。</p> <p>4) 環境社会学部環境社会学科では、募集活動等の見直し・強化に取り組み、平成28年度の入学定員充足率の平均0.59倍に対し、平成29年度の同率の平均は0.64倍となった。不十分ながらやや改善の傾向にある。</p> <p>5) 観光学部ウェルネスツーリズム学科では、募集活動等の見直し・強化に取り組み、平成28年度の入学定員充足率の平均0.59倍に対し、平成29年度の同率の平均は0.74倍となった。不十分ながらやや改善の傾向にある。</p>	<p>城西短期大学ビジネス総合学科については、定員充足率が上昇したといっても0.83倍であり、今後とも短期大学への社会的なニーズをふまえ、多様な学生の確保のために学生募集活動を活発化するとともに、多様な学生のためのカリキュラムの充実を図る。</p> <p>国際人文学部国際文化学科及び国際交流学科、環境社会学部環境社会学科、観光学部ウェルネスツーリズム学科については、いずれの学部・学科においても定員充足率が上昇したといっても未達である。引き続き、募集活動の見直し・強化を行い、入学定員の充足に努める。</p>

(注)・前年度のAC調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。

・同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。